

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

## 回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%  
保護者様： 17名回答、回答率 74%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

訓練室などのスペースに対して、利用定員は適切である。  
中高生であり体も大きく力も強い為、1対1での対応が必要な生徒が多い時には基準人員のスタッフでは厳しいことがある。

### ○業務改善

他教室で行っている効率の良いやり方を試みて自教室でも行えるようにアレンジをしたり、PC業務が効率よく行えるようにショートカット集の作成やPC内整理を行い、ショートカットキーの周知をしたりしている。

### ○適切な支援の提供

単発ではなく同じ内容の療育を意図的に行って習慣化を図るとともに、マンネリ化しないように目的に応じたメリハリを付けて活動計画を立てている。

### ○関係機関や保護者との連携

中高生の事業所である為、就学前の施設とは連携を取っていないが、スマートキッズプラスから移行してきた生徒等、前の施設や学校などとは情報共有を行っている。  
また、ケース会議などにも積極的に参加している。  
障がいのない子どもと関わる機会が充分でない為、今後の取り組みを考えていきたい。

### ○保護者への説明責任等

年2回の保護者会を実施している。参加して頂けるご家庭が固定化しているため、なるべくたくさんのご家庭に参加して頂けるよう、日程などを工夫していきたい。

### ○非常時等の対応

毎月避難訓練を実施し、座学だけでなく実際に避難場所への移動を実践している。  
テーマは主に地震・火災・不審者への対策としている。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

特にご意見はなかった。

### ○適切な支援の提供

障がいのない子どもとの交流の機会は特に必要だとは考えていないとお考えの保護者もいた。

### ○保護者への説明等

保護者会に出席しても参加者が少ないため「保護者同士の交流」という目的で考えるならば、あまり意義が感じられない。また、子どもの様子については送迎時にスタッフから聞いていることもあり、そのために保護者会を開催する必要性は感じないとのことだった。

保護者と教室とのやりとりで、保護者の求める回答ができていないこともあるとのことがあった。

### ○非常時等の対応

利用回数の少ないご利用者からは「していると思う。」との回答もあったが、多くの保護者をご存知であった。

### ○満足度

回答いただけただご家庭のすべてから「満足」との評価を頂けた。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

個々の職員のスキルアップを図ると共に、業務分担の明確化を行い、業務を行う上での困りごとを積極的に発信してもらうことで更なる効率化を図りたい。

### ○改善できた点・まだ残る課題

ご利用人数が大幅に増えたが、スタッフが効率よく動けるようになってきている。

突然のご利用変更があったときに送迎ドライバーの調整がすぐにはできずご希望に沿えないことがある。



## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

生徒の皆様は、ご利用を楽しみにしてくれている。  
教室の支援についてはご満足いただいている。

### ○改善点

- ・避難訓練の具体的な内容を送迎時に保護者へお伝えすること
- ・児童の特性を踏まえ柔軟にスタッフ数を配置すること
- ・業務前ミーティング以外のミーティングや教室内研修の増加



## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・地域の方々や保護者に参加して頂けるイベントを開催する。
- ・定期的に教室内研修を実施し、同じテーマを扱うことで知識の定着、スキル向上を図っていく。
- ・連絡帳や送迎時以外の保護者とのコミュニケーションチャネルを増やす。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・保護者会の年間スケジュールを作成し、周知することで参加率を向上し、保護者同士が交流の図れる保護者会を開催する。
- ・ニュースレターや保護者会の資料などを使用し、緊急時対応について周知する
- ・教室スタッフ向けの研修計画を立て、安全管理や支援力向上、業務改善に向けて取り組む

# スマートキッズ